

# 自己評価結果公表シート（令和2年度）

東豊中幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・一人ひとりを大切に、遊びと生活を通して子どもたちの「積極的に生きる力」「自律性」を育てる。
- ・遊びや生活の中で、自分で考えて決める力を育てる。
- ・思いやりをもって人と関わる力を育てる。
- ・自分を大切に思う心を育てる。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・職員間での報告・連絡・相談を大切にし、職員全員で共通理解ができるよう努める。
- ・職員間で自主的な園内研修を行い、チーム全体の資質向上に努める。
- ・職員一人ひとりが保育目標をもち、それを実践できるようにする。
- ・保護者と子どもの情報を共有し、家庭との連携を大切にする。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育の資質向上	学年メンターを配置し、各クラスを巡回し、担任とメンターが話し合いをすることでよりよい保育ができるよう努めている。 園内研修などで、職員同士が保育観や子どもの育ちなどの意見交換やコミュニケーションを図る機会を多くもてるようにし、お互いの学びを深め合い、チーム力を高めていくようにすすめている。また、園内研修以外にも保育者同士の話し合う時間を多く取り入れた。
安心して過ごせる環境づくり	遊具や園内外の点検を毎日行い、安全を確認している。また、子どもたちが落ち着いて過ごすことができるよう、保育室内・その他施設の環境も子どもたちの様子に応じて整え、見守る体制を整えている。 保育補助として、学年メンター3名、フリー教諭18名、補助職員10名の体制をとっており、子ども一人ひとりの成長に合わせた援助や見守りの充実を図っている。
遊びの充実	室内、戸外共に遊びの中から自律的な学びに繋がる経験や体験ができるものを職員間で話し合いを重ね、工夫しながら環境に取り入れている。 ルールのある遊びを楽しみながら、社会性や協調性を身につけ、また自ら考える力を養い、遊びを繰り返し試せるよう、職員同士で研修や話し合いを重ね環境を整えている。 (集団遊び・カードゲーム・ボードゲーム・水つなぎ遊び)

子育て支援	主に保護者対象として育児ストレスの軽減や子どもたちの健やかな育ちを援助するために心理専門家によるカウンセリングを実施している。子育て相談員や幼児教育アドバイザーなどの資格を持つ職員を配置して気軽に話ができる環境を整えている。地域の親子が参加できる「りんごらんど」「はぐはぐりずむ」を年間を通して開催しているが令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により回数は例年より減った。働く保護者の支援を目的に早朝保育の「おはようクラス」・放課後預かり保育の「りんごぐみ」を実施している。
保護者理解	毎年、行っている保護者参加の行事が令和2年度は実施することが難しかったため令和3年度に実施できるよう話し合いを重ねた。保護者が子どもの日々の姿や園での様子を知ることができるよう、HPに保育の様子を掲載した。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園内研修や職員会議では職員それぞれが得意分野を活かし、発表や意見交換を行うことで幅広い知識を知ったり、保育に必要な共通理解を得たりすることができ、保育実践につなげることができた。

職員間のチームワークが深まり、一人ひとりの保育目標がより明確になり、向上心をもって保育を行うことができた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

##### ◇保育者の質の向上

園内や外部の研修にそれぞれが向上心をもって積極的に参加する中で、学びを自分だけに留めるのではなく、園や他の保育者に伝えていきながら、全体的な質向上に努めていくことができるようにする。

一人ひとりの子どもたちの姿や成長を大切にしながら、幼児理解を深め、よりよい保育を目指す。

##### ◇園内研修の充実

1年間の日程を定めることで計画的に園内研修をすすめることができるようにする。また、情報共有をするための時間を定期的に設けることができるように計画する。

##### ◇情報共有の徹底

職員会議を行い、担任だけではなく職員全員が一人ひとりの子どもの様子をより把握し、個々の特性に合った援助をしていきたいと考えている。また、日々の保育の出来事を伝えあったり、相談しあったり等、職員間のコミュニケーションの場を大切にしていく。

##### ◇幼保小の連携を深める

連携していくことの重要性を感じ、引き続き他校園所との交流をさらに充実させていくとともに、学びの連続性を踏まえて保育内容を検討し、小学校就学へスムーズに移行できるようにする。

他校園所の職員関係もより深められるよう努める。

##### ◇子育て支援

今後さらに地域の方々が来園できる機会が増えるよう考えている。また、未就園児の子どもたちや地域の方々との交流が生まれるよう、年齢別や回数などイベント内容の充実を図る。

#### 6. 学校関係者の評価

手紙やホームページで遊びや活動の様子を伝えること、保育風景の写真を使ったポスター展示を行

うこと、子どもたちの様子を日々丁寧に連絡することで保護者に園でどのような事を大切に保育しているのかより理解してもらえるようになったと考えている。また、保護者が保育参加できる機会を設け、園での子どもの様子を見ることで成長を実感でき、保護者自身にも充実した時間を過ごしてもらっていると感じている。保護者からの理解を得られたことで保育者自身も志を高くもち、保育に臨むことが出来た。

## 7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。